

東村山市民新聞



第209号
2025年1月20日
発行
東村山市民新聞社

昨年引き続き、「民間給与の増」に合わせて？

市財政困逼迫の中、

年間2億7千万円の財政負担に

市職員給与また引上げに！

昨年12月議会では、昨年に続いて、また市職員給与の引き上げ議案が可決された。市職員の給与は「東京都人事委員会」が民間給与の調査をして、都職員の給与の引き上げを引き下げるについて都に勧告するもの。東村山市ではこの東京都の人事委員会の勧告に準拠して市職員の給与を決めており、今回は期末手当が年間4.65九月から0.2九月引き上げられ、4.85九月の支給となる。市の人件費は今後2億7151万円の増額となる見通しだ。ちなみに現在の職員課長クラスの平均年収は1000万円を超えている。



は、都内の社員50人以上の1241事業所を無作為に抽出したら、都職員の「期末手当」と「新入職員の初任給」が民間企業を下回ったというのだが、調査対象の1241事業所の内訳(地域、規模など)は一切明らかにされていない。

また、民間企業の「賞与」は会社の売り上げ・利益や社員の業績に応じて支給される、流動的なもの。よって定率で支給される職員の「期末手当」とは根本的に違うことから、比較するのはおかしい話。民間企業の賞与を基準にするなら、ますます財政運営が厳しくなる東村山市が職員の期末手当(民間の賞与)を引き上げることが全く矛盾している。

人事委員会の調査とは？

今回の職員給与引き上げの根拠となった、都人事委員会の調査結果

東村山市はこれから

ますますの財政難へ

しかも、東村山市は、今後「厳

しい財政状況」であり、「財政の持続可能性の確保が難しくなってきた」と市長自ら発言し、また東村山市は2024年2月には、「令和7年度で17.9億円、令和12年度で52.4億円の財源不足の見込み」という来年度から5年間の「東村山市中长期財政見通し」を公表し、市の財政が逼迫していることを、市民にアピールしている。そして、この12月議会だけでも、「スポーツセンター駐車場有料化」「野口町健康広場廃止」が可決された。特に、野口町の広さ2466平方メートルの健康広場は、これまで無償で市に貸与していた当土地を、「買い取って欲しい」と地主から市に申し出があったにもかかわらず、市は約4億円の公園土地購入を財政難を理由に断り、この健康広場は、解体工事費用4000万円をかけて更地にされ、地主に返却される。この健康広場解体については、自民党からも「(無くしてしまふのは)もったいないのではないか?」との意見も出された。子育て支援事業は他市にいつも遅れ、26



解体予定の野口町健康広場

インサイド レポート

「幼児化?」する渡部市長

市中22市では子どもの貧困対策として、子ども食堂への援助事業を実施しているが、東村山市は予定なし。国民健康保険料は容赦なく引き上げられ、街を歩いても道路はガタガタ、公共施設や学校は修理もままならない状況。

今後は、財政難を理由に市民はこれまで以上に我慢を強いられることから、草の根の朝木・子安議

12月議会、朝木議員は9月に議員全員で決議した「東村山市役所からパワハラを根絶する決議」の後、市の取組状況について質問。決議で求めた通り、無記名アンケートの実施をしているとの行政答弁があり、またそのアンケートの結果については市の職員が処理するということがあったので、「仮に市長のパワハラなどが記載されていた場合、市職員が適正に処理できるのか」という趣旨の質問をしたところ、渡部市長は突然騒ぎ出してヤジ。最近では、議会中に、本会議場でも委員会室でも、後ろを向いて職員の答弁に口出しをするのみならず、野党議員へのヤジが抑えられない様子だ。一方、与党議員への答弁では延々とおしゃべりがとまらなくなり、議長から「答弁は簡潔に」と注意される始末。

員は新人職員の初任給の引き上げは許容するとしても、この状況下で全職員の期末手当引き上げは市民の理解を得られないとして反対。立憲民主党の清水議員、維新のかくた議員も反対した。共産党は昨年の給与引き上げ議案には反対したが、今回は賛成に回り、自民、公明、その他の議員の賛成により可決された。

また、市立化成小学校の創立150周年記念式典では、来賓として、校長よりも長い挨拶を延々としたあげく、自分の挨拶が終わった地域自治会長が挨拶をしている最中に私語を始めた。皆が静かにしている体育館で市長の私語が響き、出席した議員からは「静かにして下さい」と注意されたが、市長の私語は止まらなかった。

当然、目の前では、化成小学校の児童たちが座り、しっかりと前を向いて静かに来賓の挨拶を聞いていたので、それに対して市長の行儀の悪さは対照的で、終了後に、後方席にいた地域の出席者からも苦情が出たほど。

最近、議会では幼児化が目立ってきた渡部市長だが、議会内だけでなく、子どもの前でもこの行儀の悪さでは、今後が心配だ。

子安じゅん VOICE

職員給与は2億7千万円増額も、子ども食堂には予算なし

12月議会では子ども食堂の支援について質問しました。

当市には、NPO法人による運営が7箇所、個人運営が5箇所あります。

市は、「子ども食堂は子供の貧困対策のみならず、高齢者も含めた居場所作りの役割や、農家や地域事業者をつなぐ地域創生社会の役割も果たす」と言っておきながら、子ども食堂に対して1円も出さず、運営者は食品価格高騰の中で、時には自腹も切りながらなんとか子ども食堂を続けています。

多摩26市中22市は予算をつけて子ども食堂の支援をしており、東京都の子ども食堂推進事業補助金の活用や、寄付で集まった食品を子供食堂に届けるなど、各自治体で工夫を凝らしてさまざまな支援が行われています。

他市に大幅に遅れている支援

一方、東村山市が行なっている支援を確認すると、「後援名義の依頼に対し後援名義を出した」という驚くべきやる気のないもの。また、子ども食堂の運営

者との顔合わせすらできておらず、他市の支援状況と比べて圧倒的に遅れています。他にも公民館の使用料免除や場所の提供など、いくらでも運営費負担を軽減する支援策はあり、実際に公民館の使用料免除を行なっている自治体も多数あります。予算がつけられないなら公民館の使用料免除を、と迫りました。

これに対し渡部市長の答弁は「ハードルが高い」。ではこの物価高騰の中での運営をどう支援していくのか、と質すと、給食費無償化や2025年初頭に国から一時金として給付される子育て世帯給付金などの施策を挙げた。話が噛み合いません。つまり口では子ども食堂の意義を認めると言っておきながら、運営者団体に対して1円も支援する気がないのです。2億7千万円以上増額して職員期末手当は4.85ヶ月支給となる一方で、貧困対策は子供食堂の支援すらせずに置き去り。一体なんのための市政なのでしょう。



子安じゅんプロフィール

- ▼1983年大阪府豊能郡能勢町生まれ。能勢町立歌垣小・能勢東中・府立池田高・創形美術学校卒
- ▼学校職員・会社勤務・新聞編集員
- ▼政治と宗教問題への関心から、矢野ほづみ議員の遺志を継ぎ、政教分離実現のために闘うことを決意。東村山市民新聞編集員・地元FM局スタッフ・高齢者団体役員
- ▼2023年4月の選挙で初当選・現在一期目の市議会議員

子安じゅん HP



X(旧Twitter)でも情報発信中!



お知らせ

東村山を変える超党派議員連盟「議会報告会」

- 日時 2月9日(日) 9:30~11:30
- 場所 市民センター第1・第2会議室

ぜひお越しください!

自公過半数割れの衆議院議員選挙

去る10月27日に行われた衆議院選挙では、自民党の裏金問題が大きな争点となり、自民・公明の議員は選挙前の279議席から大きく議席を減らして215議席となり、過半数割れという事態になりました。

自民党は247議席から56議席減で191議席となり、公明党は、石井代表・佐藤副代表共に落選。また彼らが「常勝」と謳っている大阪でも小選挙区で公明党候補者は全員落選、32議席から8議席減で24議席となる大惨事。

しかし開票翌日の聖教新聞の大見出しは「公明党、激戦突破相次ぐ!」、同じく公明新聞の見出しは「公明、逆風吹き健闘」と、紙面はまるで大勝利したかのような雰囲気。戦時中の大本営発表さながらです。

石井公明党代表は落選により、代表に就任してわずか1カ月で辞任するという前代未聞の事態となりました。

ついで、東村山の公明党は

東村山市議会の公明党議員も相変わらずで、渡辺英子議員は、職員給与の引き上げ議案の審査の中で、今回の人事委員会の給与引上げ勧告が、50人以上の社員のいる企業の調査結果に基づいていることについて、「50人以上の規模の企業に就職できるだけの能力のある人でない」と東村山市政は任せられない」と発言し、あたかも大企業勤めではない人は能力が劣ると言わんばかりの差別的発言をしました。市内にある企業はほとんどが、社員が50人に満たない中小零細企業ですが、

「教祖」不在となつた創価公明は…。

朝木直子プロフィール

- ▼1967年東村山市諏訪町生まれ／化成小・二中・都立武蔵高・慶應大卒
- ▼母・明代議員の殺害事件後、遺志を継ぎ、弱者の生活を守り、税の使途、行政腐敗を監視するために闘うことを決意。謀殺事件究明に28年
- ▼憲法学習会広渡塾一期生・東村山市民新聞代表・現職市議会議員(7期目)／社会福祉法人理事／政治と宗教を考える会主催／地元FM局スタッフ／憩の家委託費問題を追及し予算を撤回させる。これまでに、期末手当2割増分など、議員報酬から606万4410円を返上。



朝木直子 HP



X(旧Twitter)でも情報発信中!



真面目で優秀な企業は数多くありますし、市議としては不況に苦しむ市内企業を応援する立場なのに、渡辺議員のような上から目線では、不況に苦しむ市内事業者の立場がわかるはずはありません。が、これが渡部市政を支える公明党の本音なのでしょう。

また、同じく公明党の伊藤真一議員は、女性職員に甘えている姿をよく見かけますが、女性職員を苗字ではなく、名前で「ちゃん」付けし、目上まで差してもらっているようでは、単なる甘え上手ではずまいかもしれません。注意を。

朝木直子

VOICE